|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校国語科書写用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい書写」  **年間指導計画作成資料**  **【４年】** |

令和6年（2024年）1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編　新しい書写 四」（第４学年）年間指導計画

| 月 | 単元名  学習指導要領との対応  他教科との関連 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動  【書写のかぎ】 | 観点別評価規準 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4 | ●おかしな案内  ●書写の学び方  ◯学習のじゅんびをしよう  ・用具のじゅんび／用具のかたづけ方  ・書きやすいしせいと、筆記具の持ち方  ・毛筆で書いてみよう  表紙裏～p.9  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○１年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を理解することができる。  ○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解することができる。  ○点画の種類を確認し、書き方に気をつけて書くことができる。 | 2 | ①１年間の学習の流れを見通す。  ②書写の学習の進め方を理解する。  ③毛筆の用具の置き方・扱い方・かたづけ方を確認する。  ④毛筆・硬筆の姿勢・持ち方を確認する。  【姿勢・持ち方】  ⑤既習の点画の書き方について確認する。  【点画の書き方】「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」  ⑥自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解している。  ○点画の種類と書き方を理解して書いている。  ［思・判・表］  ○硬筆での姿勢や持ち方と比べながら、毛筆での姿勢や持ち方を見直している。  ［主］  ○１年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。 |
| 4  ・  5 | ◯画の長さと  間かく  〈羊〉  p.10～11  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○画の長さの整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。  ○画の間隔の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①画の長さや間隔の整え方を見つける。  【字形】点画の長さ、点画の間隔  ②画の長さや間隔の整え方を確認する。  ③毛筆を使って、②の整え方を確認する。  ④毛筆の学習を生かして、画の長さや間隔の整え方を硬筆に広げる。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○画の長さの整え方を理解している。  ○画の長さを正しく整えて書いている。  ○画の間隔の整え方を理解している。  ○画の間隔を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○画の長さと間隔の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の長さと間隔の整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 5  ・  6 | ◯筆順と字形  〈左右〉  p.12～13  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○筆順と画の長さの関係を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 4 | ①筆順と画の長さの関係を見つける。  【書くときの動き】筆順  【字形】点画の長さ  ②筆順と画の長さの関係を確認する。  ③毛筆を使って、②の関係を確認する。  ④毛筆の学習を生かして、筆順と画の長さの関係を硬筆に広げる。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○筆順と画の長さの関係を理解している。  ○筆順と画の長さの関係に注意して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○筆順と画の長さの関係を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順と画の長さの関係に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 6  ・  7 | ◯画の方向  （左はらい）  〈友〉  p.14～15  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○「左払い」が二つあるときの方向の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①「左払い」が二つあるときの方向の整え方を見つける。  【字形】点画の方向  ②「左払い」が二つあるときの方向の整え方を確認する。  ③毛筆を使って、②の整え方を確認する。  ④毛筆の学習を生かして、「左払い」が二つあるときの方向の整え方を硬筆に広げる。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○「左払い」が二つあるときの方向の整え方を理解している。  ○「左払い」が二つあるときの方向を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○「左払い」が二つあるときの方向の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「左払い」が二つあるときの方向の整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 9 | ◯組み立て方  （左右の部分）  〈土地〉  p.16～17  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○左右の部分の組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 4 | ①左右の部分の組み立て方を見つける。  【字形】組み立て方  ②左右の部分の組み立て方を確認する。  ③毛筆を使って、②の組み立て方を確認する。  ④毛筆の学習を生かして、左右の部分の組み立て方を硬筆に広げる。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○左右の部分の組み立て方を理解している。  ○左右の部分の組み立て方を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○左右の部分の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、左右の部分の組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 10 | ▼生活に広げよう  ・ノートを書こう  p.18  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(イ)  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○箇条書きの書き方と既習の文字の整え方を理解し、ノートを書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①箇条書きの書き方を確認する。  ②既習事項を確認する。  ③既習事項を生かして、ノートを丁寧に書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○読みやすい箇条書きの書き方を理解している。  ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んでノートを書こうとしている。 |
|  | ◇文字といっしょに  ・手書き文字と活字  p.19 | ○手書き文字と活字の特徴を知ることができる。 | ― | ①手書き文字と活字の特徴を知り、書写学習に興味をもつ。 | ［主］  ○手書き文字と活字に興味を持って、特徴を知ろうとしている。 |
| 10 | ◯組み立て方  （上下の部分）  〈竹笛〉  p.20～21  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○上下の部分の組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①上下の部分の組み立て方を見つける。  【字形】組み立て方  ②上下の部分の組み立て方を確認する。  ③毛筆を使って、②の組み立て方を確認する。  ④毛筆の学習を生かして、上下の部分の組み立て方を硬筆に広げる。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○上下の部分の組み立て方を理解している。  ○上下の部分の組み立て方を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○上下の部分の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、上下の部分の組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 11 | ◯いろいろな  組み立て方  p.22～23  ◎〔知識及び技能〕⑶エ (ア)  【用具】鉛筆 | ○いろいろな組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 1 | ①左右・上下の組み立て方（部分の幅や高さ）を見つける。  【字形】組み立て方  ②左右・上下の部分の組み立て方を確認する。  ③左右・上下の部分の組み立て方をほかの文字に広げる。  ④「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を見つける。  【字形】組み立て方  ⑤「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を確認する。  ⑥「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方をほかの文字に広げる。  ⑦自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○左右の部分、上下の部分、「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を理解している。  ○左右の部分、上下の部分、「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○左右の部分、上下の部分、「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 11 | ▼生活に広げよう  ・調べたことを伝える新聞を作ろう  p.24～25  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(イ)  【用具】フェルトペン・鉛筆ほか  ★他教科との関連：社会、算数 | ○読みやすい新聞の書き方と既習の文字の整え方を理解し、新聞を書く場面で生かすことができる。 | 2 | ①新聞の書き方を確認する。  ②既習事項を確認する。  ③既習事項を生かして、新聞を丁寧に書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○読みやすい新聞の書き方を理解している。  ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで新聞を書こうとしている。 |
| 11  ・  12 | ◇文字といっしょに  ・年賀状を書こう（小筆）  p.26  ・書きぞめをしよう  〈平和〉〈春を待つ〉  p.27～29  p.49～52  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(イ)(ウ)  【用具】毛筆（小筆） | ○小筆の持ち方や使い方、書くときの姿勢を理解し、既習事項に気をつけて、小筆で年賀状を丁寧に書くことができる。  ○既習の文字の整え方を理解し、既習事項を生かして、書き初めを丁寧に書くことができる。 | 3 | ①小筆の持ち方や使い方、書くときの姿勢を確認する。  ②既習事項を確認する。  ②既習事項に気をつけて、小筆で新年の挨拶を丁寧に書く。  ③自己評価・相互評価をする。  ④既習事項を確認する。  ⑤既習事項に気をつけて、書き初めをする。  ⑥自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○小筆の持ち方や使い方、姿勢について理解している。  ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで年賀状や書き初めを書こうとしている。 |
| 1 | ◯「折れ」（ひらがな）  〈わざ〉  p.30～31  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆 | ○平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を理解し、正しく書くことができる。 | 3 | ①平仮名の「折れ・折り返し」の書き方の原理・原則を見つける。  【点画の書き方】「折れ」（平仮名）  ②平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を確認する。  ③毛筆を使って、②の書き方を確認する。  ④毛筆の学習を生かして、平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を硬筆に広げる。  ⑤自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を理解している。  ○平仮名の「折れ・折り返し」を正しく書いている。  ［思・判・表］  ○平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、平仮名の「折れ・折り返し」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 2 | ◯行の中心と行間  p.32～33  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(イ)  【用具】鉛筆 | ○行の中心の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。  ○適切な行間を理解し、正しく整えて書くことができる。 | 1 | ①行の中心の整え方を見つける。  【配列】行の中心  ②行の中心の整え方を確認する。  ③行間の整え方を見つける。  【配列】行間  ④行の中心と行間の整え方を確認する。  ⑤行の中心と行間の整え方をほかの文に広げる。  ⑥自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○行の中心の整え方を理解している。  ○行の中心を正しく整えて書いている。  ○適切な行間をとって書くことを理解している。  ○行間を正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○行の中心や行間の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。  ［主］  ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、行の中心と行間に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
|  | ◇文字といっしょに  ・書いて味わおう（百人一首）  p.34  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。 | ― | ①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。 | ［知・技］  ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。 |
| 2 | ▼学びを生かそう  ・四年生のまとめ  〈手話〉  p.35～37  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(イ)(ウ)  【用具】毛筆・鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。 | 3 | ①１年間の既習事項を振り返る。  ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。  ③自分の立てためあてに気をつけて、毛筆や硬筆で好きな言葉や文章を書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○既習事項を理解している。  ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○自分のめあてを持って学習に取り組み、その評価を今後に生かそうとしている。 |
| 3 | ▼学びを生かそう  ・お礼の気持ちを手紙で伝えよう  p.38～39  ◎〔知識及び技能〕⑶エ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・フェルトペンほか  ★他教科との関連：国語 | ○読みやすい手紙の書き方と既習事項を理解し、手紙を書く場面で生かすことができる。 | 2 | ①手紙の書き方を確認する。  ②既習事項を確認する。  ③既習事項を生かして、手紙を丁寧に書く。  ④自己評価・相互評価をする。 | ［知・技］  ○読みやすい手紙の書き方を理解している。  ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。  ［思・判・表］  ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。  ［主］  ○今までの学習を生かして、進んで手紙を書こうとしている。 |